

射水市立東明小学校活動報告

◆活動取組の紹介

・「学校ボランティアの方との交流会」(5月)

参加人数 全校児童 264名

今年度、登下校の見守りや、クラブ、読み聞かせ等のお世話になる地域のボランティアの方々を学校に招待して集会を開いた。ボランティア委員会や放送集会委員会が中心となり、お世話になるボランティアの方々によりしく願いますの挨拶をしたり、一緒に貨物列車をして楽しく交流したりした。



〈学校ボランティアの方との交流会〉

・「福祉プラザ七美とのリモート交流」(7月)

参加人数 ボランティア委員 11名

校区内にある福祉プラザ七美の方と、リモートで交流をした。リモートでもお年寄りの方に楽しんでもらえるようにじゃんけんゲーム、しりとり、間違い探し、こっち向いてほい等を実施した。ゲームの回数やヒントの出し方等、お年寄りの方を思いながら工夫を凝らして取り組むなど、相手を思いやっ

・「アルミ缶、キャップ、ベルマーク集め」(毎月15日)

参加人数 全校 264名

アルミ缶は、校区内にある障がい者支援施設いみず苑の作業用に回収している。そのほか、ペットボトルキャップやベルマークの回収を行っている。収集の趣旨をボランティア委員が放送で呼びかけることで、全校の子供たちのエコ、福祉活動への意識が高まってきた。

◆活動していてやりがいや喜びを感じる時

「リモート交流」

お年寄りの方に楽しんでもらえるように、ゲームの内容や説明の仕方を工夫しました。リモートでの交流だったので、話し方や間の取り方にも気を付けました。「楽しかったよ」と言ってもらえてとてもうれしかったです。また、いろいろな交流を企画したいです。(5年 女子)



〈リモート交流〉

「回収活動」

アルミ缶やペットボトルキャップをみんなに持ってきてもらえるように、ポスターを作成したり毎月放送をしたりしました。協力してくれた人には、感謝の気持ちを込めて「名人カード」をプレゼントしました。みんなが協力してくれたおかげでたくさんのアルミ缶やペットボトルキャップを集めることができました。(6年 男子)

◆最後にひとこと

ここ数年、感染症対策のため、校内に地域の方を招いて大規模な集会等を行うことを控えてきたが、今年度は久しぶりに集会を実施することができた。たくさんの地域の方がいろいろな形で学校の活動に協力してくださっていることを子供たちが改めて意識することができた。日頃の感謝やこれからもよりしく願いますの気持ちをもって、1年のスタートを切ることができ、よい機会となった。

収集活動については、より多くの人に活動に参加してもらえよう、カードや放送、ポスターの掲示等、自分たちで考えて行動することができた。今後も子供たちが主体的に考えて活動できるよう、支援や指導をしていきたい。